

「環境モデル都市“いこま”の取組」



2017.12.18

生駒市環境モデル都市推進課

住宅都市初の環境モデル都市“いこま”

奈良県北西部に位置する人口約12万人、面積約53km²の住宅都市

特徴

- 1.大都市近郊の住宅都市
- 2.自然豊かで歴史のある街
- 3.高い市民力



課題

1.少子高齢化

高度成長時代の人口増加率が全国屈指
＝高齢化のスピードは全国トップ5%
⇒人口増加により安定していた財政構造に揺らぎ

2.産業構造の弱さ

住民税・固定資産税で税収の85%
⇒産業活性化の取組みが不十分

3.市民力の活用

行政のみで全てのニーズに対応するのは不可能
⇒市民、コミュニティの力を活用する場作りが急務

全国の住宅都市共通の課題

1. 少子高齢化

2. 産業構造の弱さ

3. 市民力の活用

**= 全国の住宅
都市共通の課題**

**環境モデル都市として「ECO」を切り口に
課題解決に取り組む！**

「循環と協創」の5つの取組み

1. 都市構造の再設計

世代を超えて暮らせるECOで快適な街

2. 資源循環・エネルギー自給システムの構築

災害に強い地産地消のエネルギーの街

3. ICTを活用したコミュニティサービスの推進

最新の技術により安心して暮らせる街

4. 食のバリューチェーン構築

地産地消により“食”が循環する街

5. コミュニティ交通システムの再構築

気軽に外出できる便利な街

取組み1：都市構造の再設計

ECO×都市整備

世代を超えて暮らせるECOで快適な街

具体例

- ・民間事業者との連携による住み替えの促進
- ・既存住宅流通等促進奨励金
- ・事業者提案型のスマートコミュニティの推進

取組み2:資源循環・エネルギー自給の構築

取組み3:ICT（情報通信技術）を

活用したコミュニティサービスの推進

ECO×強靱化

災害に強い地産地消のエネルギーの街

ECO×ICT

最新の技術により安心して暮らせる街

具体例

①強靱化につながる公共施設のエネルギーシステム

②創エネ・省エネシステムの導入支援

☆地域エネルギー会社の設立

取組み4:食のバリューチェーンの構築

ECO×食・農

地産地消により“食”が循環する街

具体例

- ・地産地消と環境教育・食育の普及促進
- ・市域に存在する未利用バイオマス資源の活用を検討

取組み5:コミュニティ交通システムの再構築

ECO×交通・福祉

気軽に外出できる便利な街

具体例

- ・電気自動車、超小型自動車(1~2人乗り)などの導入
(市役所での率先利用)
- ・電気自動車用急速充電器を公共施設5箇所に設置
- ・家庭用V2Hシステム設置補助

市民エネルギー生駒による市民共同発電所

全額市民出資により4箇所の
市民共同太陽光発電所が完成

市民による出資で
70~80%を調達

二号機(南こども園)50kW

一号機(エコパーク21)50kW

四号機(学研高山)50kW

三号機(小瀬保健福祉ゾーン)50kW



市民エネルギー生駒＝市民力の象徴

シルバー人材の活躍

メンバー全員が65歳以上

企業や団体で培ったキャリアを活かし地域のために活動

収益の地域還元の実践

こども園に園舎デコレーションパネル、
介護老人保健施設にパワーコンディ
ショナーを寄贈するなど、市民の目に見
える形での収益の地域還元



寄贈されたデコレーションパネル

H28年度
W受賞



環境省 第4回グッドライフアワード 環境大臣賞優秀賞

経済産業省 新エネ大賞 新エネルギー財団会長賞



生駒市環境基本計画推進会議(ECO-net生駒) による市民・事業者・行政の協働

- ・2009(平成21)年に環境基本計画の推進・実現のため設立
- ・会員数:個人 82名 事業者・団体 44団体
- ・自然、せいかつ、まち・みち、エネルギーの4部会
 - ☆市内スーパーとレジ袋の有料化協定を締結
 - ☆食品ロス削減啓発運動
 - ☆自転車マップ「くるリンいこま」の作成
 - ☆ツバメ、トンボ、野鳥、水生生物等の観察会

など様々な取組を実施



ECOKA委員会(エコロジー鹿ノ台)

- ・大規模住宅地「鹿ノ台地区」の緑化推進活動に取り組む団体
- ・今年第5回グッドライフアワード環境大臣賞地域コミュニティ部門受賞

「いこま市民パワー株式会社」の取組

H29年7月いこま市民パワー株式会社を設立！

○事業内容

市域の再生可能エネルギーを最優先で調達し、公共施設、民間事業者、一般家庭に供給する電力小売り事業

○“いこま市民パワー”が目指すもの

～まちの魅力向上・課題解決に、エネルギーを切り口に取組む～

経済面

収益は、株主に配当せず、
市民サービスやまちの活性化のために活用します。

環境面

新たな再生可能エネルギー電源の獲得、
エネルギーの地産地消を進めます。

社会面

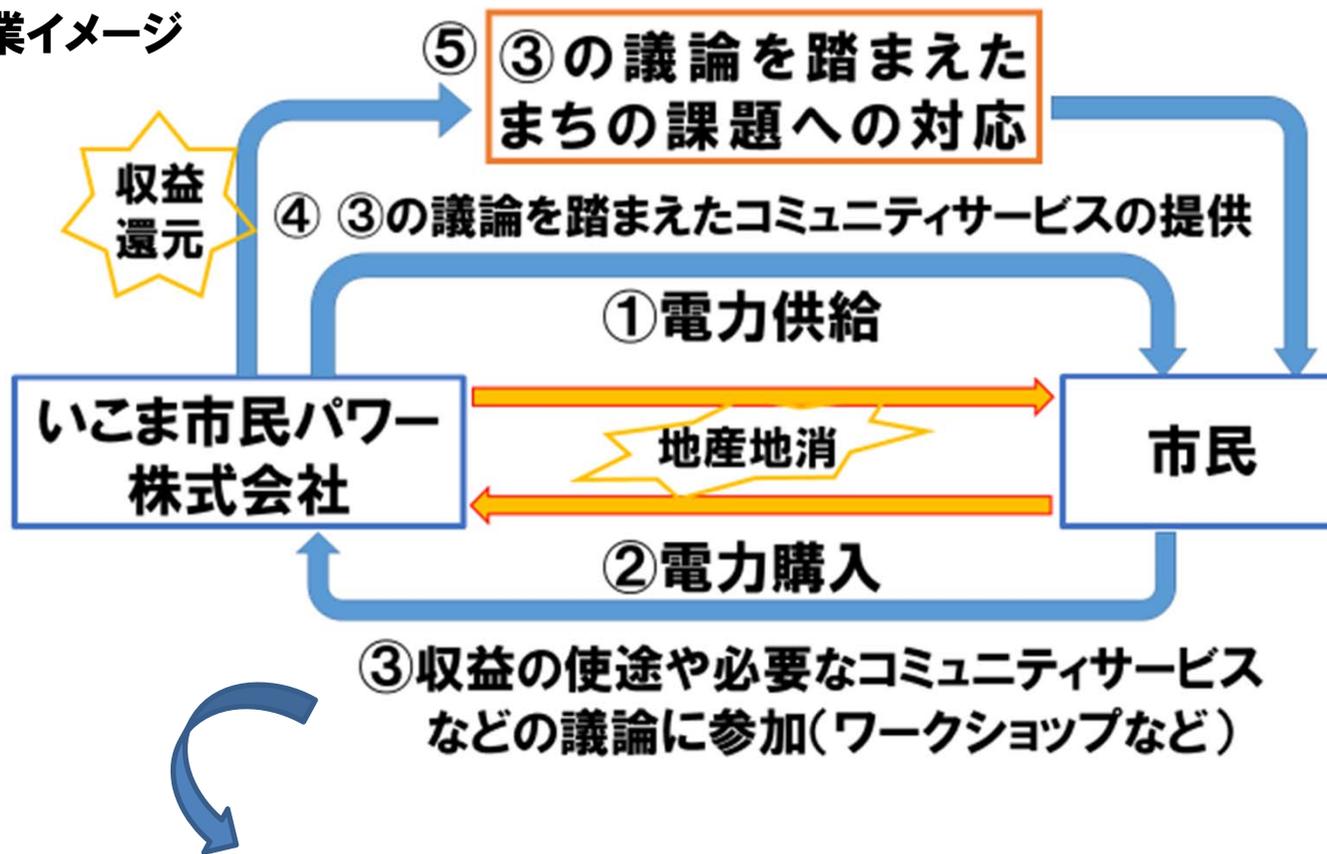
市民の皆さんと一緒に考え、創っていく
「市民による市民のための電力会社」を目指します。

⇒全国初の市民団体が出資する地域新電力会社

⇒収益の使途を市民によるワークショップで議論

市民参加や協創を徹底した初めての地域新電力

※事業イメージ



コミュニティサービス例

教育関連



スポーツ講習、防災クッキング
環境出前講座

ICTサービス

スマホ等を活用したICT
サービス提供



高齢者見守り



いこま市民パワー株式会社の概要

○出資者・出資額

出資者	金額	主な役割
生駒市	765万円 (51%)	公共施設の電力調達等事業運営全般への協力
大阪ガス(株)	510万円 (34%)	需給管理、電力のバックアップ、運営協力
生駒商工会議所	90万円 (6%)	地域企業の意見を反映し地域経済活性化を実現
(株)南都銀行	75万円 (5%)	地域経済の専門的知見を活かし財政面での支援
(一社)市民エネルギー生駒	60万円 (4%)	太陽光発電からの電力供給、新規電源の開発
合計	1,500万円 (100%)	

○電力供給先

公共施設・民間施設	公共施設80施設、民間施設10施設	当初供給量 公共53施設 約4,000kW ⇒順次供給を拡大
家庭	5,000戸	

※事業開始5年目(平成33年度)の計画:売上目標約10億円

○電力調達先

市所有の電源	太陽光(6施設)	約534kW
	小水力(1施設)	
市民共同太陽光発電所(3基)		
不足分は大阪ガスから調達		

- ☆家庭、事業所の太陽光発電の買取
- ☆他の自治体との連携 等により

再生可能エネルギー
電源を順次拡大

課題1. 少子高齢化

- ・シルバー人材の活躍
⇒定年退職後のセカンドキャリアをまちづくりに生かす
- ・コミュニティサービスで子育て支援や福祉を充実

課題2. 産業構造の弱さ

- ・地域内の経済循環を促進
⇒市外に流出していた電気料金を市内に留めて循環
- ・地域の雇用を創出

住宅都市の
課題解決・
地方創生の
モデル

課題3. 市民力の活用

- ・市民共同発電所
⇒市民の出資により再生可能エネルギーを拡大
- ・事業に市民がコミット
⇒収益の使途、コミュニティサービスの内容を市民によるワークショップで決める

ご清聴ありがとうございました

